

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう
- *賛美 390番
- *交読文 10番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 9番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ 姉妹
- 賛美 397番
- メッセージ 主の抜き身の剣(ヨシュア 5:13-15) (ヨシュア 5:13-15)
- 賛美 402番
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎 新潟賛美集会に参加される方は申込書をご提出下さい。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(空欄にご自分の名前を入れて告白して下さい)

_____を形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしが_____を贖ったのだ。わたしは_____の名を呼んだ。_____はわたしのもの。_____が水の中を過ぎるときも、わたしは共におり、川を渡るときも、_____は押し流されない。火の中を歩いても、_____は焼かれず、炎は_____に燃えつかない。わたしが、_____の神、_____の救い主であるからだ。わたしは、世を_____の身代金とし、不信者を_____の代わりとする。わたしの目には、_____は高価で尊い。わたしは_____を愛している。だからわたしは人を_____の代わりにし、国民を_____のいのちの代わりにするのだ。_____の主、イエス様の名前によって。アーメン！

ヨシュア達には、これから勝利と大きな祝福が約束されているけれども、今、彼らの目の前にそびえ立っているのは、どう攻略して良いか見当もつかない城壁と、硬く閉ざされた城門である。ヨシュアはそれに向かい、どのようにすれば良いか、まだ何の考えもなかった時、ふと目を上げて見ると、前方に、抜き身の剣を手にした一人の男が、こちらに向かって立っていた。ヨシュアは問いかけた。「あなたは味方か、それとも敵か?」。すると彼は答えた。「いや。わたしは主の軍の将軍である。今、着いたところだ。」ヨシュアは地にひれ伏して拝し、彼に、「わが主は、この僕に何をお言いつけになるのですか?」と言うと、主の軍の将軍は応えた。「あなたの足から履物を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」

巨大な壁と相対する時、その壁をどうにかする事に頭がいっぱいとなり、何者も「自分の味方か、それとも敵か」に選別し、等級づけし、主の軍の将さえ自分の損得の秤にかけてしまう事もある。しかし、主は人の自分主体の質問には「いや」と応える。そして、ご自分の聖なる立場をお示しになる。それが示された時、ヨシュアは、実に正しい態度を取った。まず地にひれ伏して拝し、「わが主は」「この僕に」と言って主従関係を明確にし、「何をお言いつけになるのですか?」と言って、自分はただ主の前に聞く立場、命じられる立場である事を告白した。

すると主の軍の将は、「あなたの足から履物を脱げ。」と命じる。私達は世の様々なほこりや汚れを踏んで来たため、私達の履物には、そうした穢れがついている。自分にとって敵か味方かという概念を捨て、主をただ聖なるお方として拝し、そして、世のしがらみや汚れという履物を脱ぎ捨て、世から受けた穢れを主の御前に持ち込まないなら、主は私達を聖なる所へと誘い、置かれている祝福を勝ち取る方法を、そして、立ちほだかっている城壁を攻略する方法を、教えてくださるのである。「私は、神の聖所にはいり、ついに、彼らの最後を悟った。」(詩篇 73:17)

みことばの剣は、世と神の国の間を切り分け、死と命の間を切り分け、肉と霊、たましいと霊を切り分ける。主の軍の将から授けられた軍事作戦は、およそ世の将校が考え出すものとはかけ離れ、軍事作戦と言うにはあまりにナンセンスな内容だった。(ヨシュア 6:1-5)しかし、だからこそ人間的な力(肉)に頼るか、それとも御言葉に頼るかが試されているのである。そしてヨシュア達は、御言葉の通り忠実に実行し、大勝利を収めた。主の剣は、バプテスマを経て主の死に継ぎ合わされた人達にとっては、勝利の剣であり、御言葉に従う事はすなわち勝利の法則に従う事である。

しかし、主を軽んじ、自分の肉欲や目に見える所を頼みとする者には、災いの剣となる。かつて、ベオルの子バラムは、イスラエルを呪うよう雇われた時、主の御心は「行ってはならない」だったのに、それでも不義の報酬を愛し、行こうとしたところ、御使いが抜き身の剣を持って彼を殺そうと待ち構えた。しかし、ろばが人間の声でものを言い、彼の気違ひざたをはばんだ。(2ペテロ 2:15-16、民数記 22章)また、ダビデが王国の人口や兵力を知りたいと思った時、ヨアブが「なぜイスラエルに対し罪過ある者となられるのですか?」と言う制止にもかかわらず、強引に数えた所、災いが下され、7万人が疫病に倒れた。この時も、主の使いが抜き身の剣を持って立ち、エルサレムに剣を差し伸べていた。(1歴代 21:16)このように、主の御声があるにもかかわらず、不義の報酬を愛したり、神様からの祝福を、あたかも我が物のように数えたりすると、主の剣は、災いとなって差し伸べられてしまうのである。バラムはイスラエルの人々の前につまずきの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行なわせた(黙示 2:14)結果、剣で倒され(ヨシュア 13:22)、ダビデはすぐに悔い改めた結果、御使いが剣を持って立った場所は神殿となった。今立っている地をわきまえ、自己中心的な判断を捨て、主を聖なるお方とする皆さんでありますように!

横浜天声キリスト教会

1部礼拝 週報



J. James Tissot

THE SEVEN TRUMPETS OF JERICHO. Joshua VI, 13.

Copyright by de Beunoff, 1904

“And seven priests bearing seven trumpets of rams’ horns before the ark of the Lord went on continually, and blew with the trumpets.”

J. James Tissot

http://www.cts.edu/ImageLibrary/Numbers_Joshua.cfm

集会案内

日曜礼拝
 1部礼拝(韓国語通訳あり) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00~
 2部礼拝 14:00
 聖書勉強会 15:00

日々の集会
 月~金 早天祈祷会 5:00~
 火・木 夜の祈祷会 21:00~
 水曜集会
 1部 13:00~
 2部 19:30~
 金曜徹夜祈祷会 21:00~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番出口より徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ!

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

